

No. 1033

雨の観閲式

—自衛隊記念日—

自衛隊記念日の十月二十八日、埼玉県の陸上自衛隊朝霞駐とん地に田中首相を迎えて観閲式が行われました。土砂降りの雨とあって栄誉礼を受ける田中首相も、田中首相の訓示を受ける隊員も皆ずぶ濡れ。自衛隊違憲判決後初めての観閲式に、田中首相の訓示も強気そのもの。しかし、基地の外には雨にもかかわらず約三千人のデモがくりだし、自衛隊解散、観閲式粉碎を叫びました。例年、東京・千駄ヶ谷の国立競技場で行われてきた観閲式も、美濃部知事の反対もあって、初めて都落ち。ナイキ、ミサイルなど花形兵器も、どこか寂しげな観閲式でした。

義理と正義を

はかりにかけりゃ

茨城県岩瀬町議補欠選挙

石と農業の町、茨城県岩瀬町の町議会議員6人が今年の3月から4月にかけて地元暴力団とのトバク開帳で逮捕されるという事件が起きた。うち1人は自発的に辞職したが残る35人は居すわりつづけた。町ではリコール運動まで起きたが当の議員はどこ吹く風。ところが先月下旬、突然5人が辞職、そして補欠選挙となった。しかし、そのうち4人までが再度立候補。

リコール運動をすすめてきた「町を明るくする会」も4人のトバク議員を当選させては町のはじと7人の対立候補をたてて選挙運動を展開。7議席をめぐる、トバク議員、町を明るくする会、中間派と14候補が入り乱れての選挙戦となった。4人のトバク議員は、宣伝カーにものらずおんみつ行動。インタビューにも打ち合わせのように応じない。選挙運動の一週間が過ぎようとする最後日の夜、トバク議員の一人が元町議の応援で駅前に姿を見せた。わびながらも、本当の明かるい町づくりができるのはこの私であると堂々と演説。選挙運動は終わった。開票が終わりひとつの結果がそこに出た。4人のトバク議員のうち2人までが当選。トバクで逮捕されても、政治生命を失う事はなかった。「町を明るくする会」の副会長中田さんは、一歩前進したといいながらも、岩瀬の町の体質ですと語る。「町を明るくする会」からすいせんされ立候補したある候補者は義理人情でトバク議員に票を入れる人たちがまだまだこの岩瀬町には多い。残念です。と語る。ある農民は町のコを使ったわけではないし、自分の金でやったんだから私ら悪いと思わない。この岩瀬だけじゃなくどこでもあるんじゃないのと語ってくれた。義理と正義をはかりにかけりゃ、まだまだ重たい義理人情。石と農業の町茨城県岩瀬町の補欠選挙はかくして終わった。